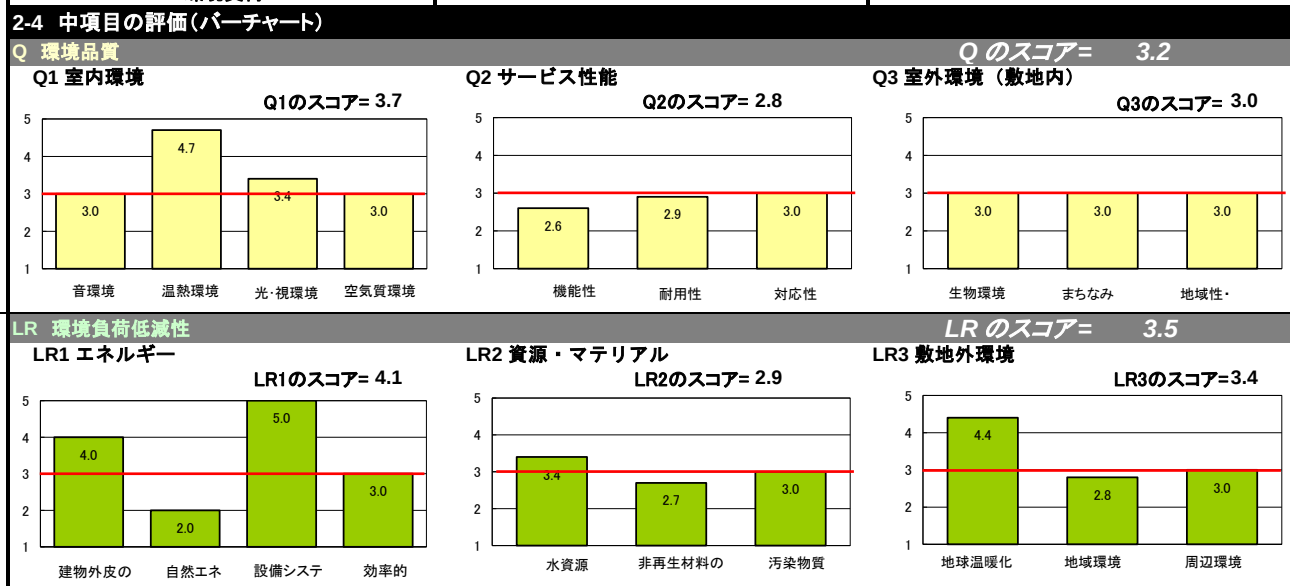
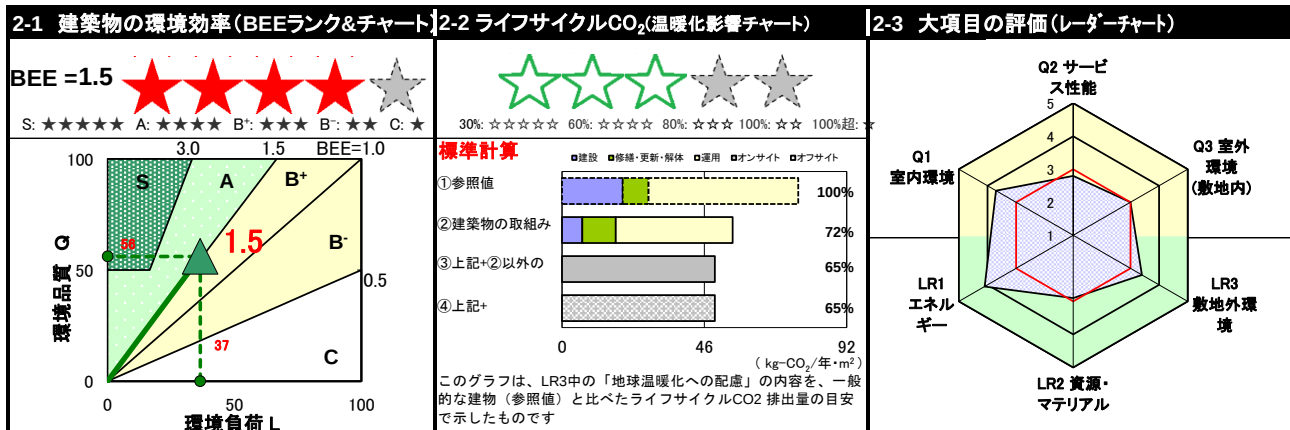


1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	県営鶴巻団地公営住宅新築工事(1期-第1工区)	階数	地上7F	
建設地	神奈川県秦野市鶴巻南 2-7 外	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	118 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年2月7日	
敷地面積	2,452 m ²	作成者	株式会社タック都市開発研究所	
建築面積	501 m ²	確認日	2025年2月7日	
延床面積	2,662 m ²	確認者	株式会社タック都市開発研究所	



3 設計上の配慮事項		
総合 神奈川県秦野市に計画された地上7階建て、RC造共同住宅 室内環境とエネルギーに配慮した計画とした		
その他 特になし		
Q1 室内環境 全住戸の外気性能、断熱等級5を達成	Q2 サービス性能 維持管理や耐用性に配慮し、更新間隔の長い内装材や配管を採用した	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内歩行者空間等の暑熱環境を緩和している
LR1 エネルギー 外皮最不利住戸UA値0.48、住棟でのBEI0.66(再エネ含む)を達成	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄地下+仕上げ材で分別が容易になっている	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物以下となる計画とした

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される